臺灣日日新報（夕刊）
（第三種郵便物認可）（原題印刷）（明治四十五年一月九日第三種郵便物認可）
昭和十年十二月十日（木曜日）
毎日一回午後一時一部一錢定価月分
右一部一時半頃配達
一月分四円発行所市北署
勇志英二郎

帝國の提案を即時討議に決定

永野全權、列國を屈服させ 軍縮第一委員會 劈頭先づ成功

【ロンドン十日發合】十日午前十時三十分クラレンス・ハウスに於て開かれた海軍第一委員會は午後十時三十分ルーズベルト米大統領の提案に基き軍縮問題を議題に決定した

次の諸項を決定した

一、第一委員會は月曜午前十時三十分に開會、火曜午前十時三十分に開會、木曜午前十時三十分に開會、土曜午前十時三十分に開會

三笠宮殿下多摩御陵御參拜

【東京十一日發】三笠宮殿下には十一日午前十時四十分御陵御參拝に御出ましになり、同十一時三十分御陵に御到着遊ばされた

【ロンドン十日發合】十日午後十時三十分クラレンス・ハウスに於て開かれた海軍第一委員會は午後十時三十分ルーズベルト米大統領の提案に基き軍縮問題を議題に決定した

次の諸項を決定した

一、第一委員會は月曜午前十時三十分に開會、火曜午前十時三十分に開會、木曜午前十時三十分に開會、土曜午前十時三十分に開會

三笠宮殿下多摩御陵御參拜

【東京十一日發】三笠宮殿下には十一日午前十時四十分御陵御參拝に御出ましになり、同十一時三十分御陵に御到着遊ばされた

全議場の質問の矢

に集め、他も、不戦、不侵略の誓約を基礎とする帝國の平和政策が長期に亘り、帝國の提案は、共通最大限の提案を基礎とする帝國の提案に対し、第一の見地より、帝國は

神戸の巡査殺し
自殺說有力となる
切手の唾液で怪電も
本人が依頼した事が判明

【神戸七日發】去る一日午後三時半頃中央區神戸市長田區内町大字川崎新開地新聞紙工場内の便所で大阿部太郎（三）が同町巡査山中國雄（三）が同所附近の山林中に拔刀の上刺殺の後自殺したらしいとの報に接し大阿部の兄弟三人が駆けつけ直ちに捜査本部を設置し山中巡査の遺骸を解剖に依り二箇所の刺創を認め即死の模様であるが大阿部の方は刺創の外に何等の外傷なく毒物を服用したものと認められ兄弟三人は直ちに遺骸を引取り帰宅したが大阿部は生前に遺書を認めたらしく同人の遺書は「自殺する」と書いてあるのみで他に何等の遺書なく動機は不明であるが山中巡査は二月二十八日夜二人の男が東京中央署である所から脱獄したとの報に接し直ちに捜査本部である神戸三宮署に出張し捜査を進めていたが翌日の朝から行方不明となつて来たので捜査本部は山中巡査の殉職を強く同一犯人の仕業と見て

國防愛護の活歴史

元寇 (109)

藤井眞澄作
齋藤五百枝畫

對馬の船（五）

對馬の船に、ひとり捨てられた太郎。身うごきが出ないやうに、ぎっと縛つてある。

「おお、加賀氏ぢゃ」

とたゞ単に、敵が、帰ってきうるやうにドカ〳〵とおりて来た。

「おお、加賀氏ぢゃ」

と、呼ばれた。身は動きをひとり捨てて行つたので、若しやその後で、あのまた江川氏と同じやうになつたのでは、そのまゝ捨てられてしまつたのでは、と思ひ、その若しやの心配に、心配になつたので、そこで飛んで帰りましたのぢや」

「貴殿は、良い先生ぢゃ。」

「貴殿は、良い先生ぢゃ。」

「貴殿は、良い先生ぢゃ。

員林 檳榔現盛出期
檢查員不足大積滯
生產者叫苦屢乞增派

員林方面檳榔。自八十三月以來正見盛出。現每日檢查申請數。員林約二十萬顆。永靖約十萬顆。檢查員十二名。此十二名。檢查能力。僅十萬顆。員林及永靖兩檢查所。倉滯三十萬顆。現下員林倉滯類。積至百三十萬顆。永靖二十萬顆。不得已員林自去八日起三日間。永靖自去八日起按至十五日止斷行申請中止。因產內地檳榔高騰。又值盛期。諸生產者。皆叫苦連天。蓋中州糖業組合及永靖信用組合。自數日來。屢向當局。要求至急增派檢查員。至去十一日。乃增加二名云。

來二十一日 至明春二日
基督降誕休日

倫敦十日電。十日上院委員會。議基督降誕休日。決定軍縮會議。自十一月三十一日午前至明年一月二日正午休會。又第二委員會。十一日午後二時開會云。

員林郡煙耕 組合兩式 及各人賞者

員林郡內埔庄林作組合主催第三回堆肥品評會。於當選者授與式。並昭和十年度煙草耕作奬勵金付與式。去十日午前十時起。在員林公會堂行。監督官島崎。有尊官局女達技師。樋口臺北總督。水野。永井兩全權。臨場。而花旋館水野全權室與堆肥少數。其他外省賓客。堅閉提議。相與協議。或議各國軍兵力非通最大限設定。均等要求等。日本主張。提出軍縮大會議之提議方法云。

聲明書 英外相發表
倫敦十日電。十日軍縮會議全員委員會散會後。英國實至外相。發表聲明書。內容如左。

軍縮會議第一委員會第一回會議。十日午前十時三十分。開於克拉爾。總會議進行手續。所關議題問題後。轉議九日。即將共通最大限。主張根據總會。（略）宣言。委員會。明確要旨。為制限。量的制限。英國當局代表。表賛同。以明帝國不變之

日本全權團 凝議要事

倫敦十日電。十日午後零時五十分。第一委員會散會。水野。永井兩全權。自花旋館水野全權室。與堆肥少數。其他外省賓客。閉提議。相與協議。或議各國軍兵力非通最大限設定。均等要求等。日本主張。提出軍縮大會議之提議方法云。

英外相發表
倫敦十日電。十日軍縮會議全員委員會散會後。英國實至外相。發表聲明書。內容如左。

軍縮會議第一委員會第一回會議。十日午前十時三十分。開於克拉爾。總會議進行手續。所關議題問題後。轉議九日。即將共通最大限。主張根據總會。（略）宣言。委員會。明確要旨。為制限。量的制限。英國當局代表。表賛同。以明帝國不變之

永野全權 闡明我態度
答各代表質問

倫敦十日電。通特派員發。十日第一委員會。第一回。會議。日本永野。永井兩全權。出席。第一。下。阿部。招現。山形。井上各顧員。清田通譯出席。次西英全權。說明英國軍縮方針。各國代表。亦有具體說明軍縮方針。我方主由永野全權說明。先自著的制限問題討議。各國代表。概說其的制限方針。永野全權。即將共通最大限主張根據。不減脅。不侵略原則。確保目的。我公正要當之軍縮方針。懇切說明。以與各國代表賛同。以明帝國不變之

量的制限 力主先議

倫敦十日電。通特派員發。十日軍縮會議第一委員會。先從著的制限問題討論。永野全權。所帝國軍縮方針。力主設定。各國海軍兵力共通最大限。以行著的制限。反覆要求。並言此點不決定。帝國全權。不便著議賛的制限問題。頗示以強硬態度云。

各國兵力最大限 先要議量的制限
我永野全權委員會高唱

倫敦十日電。十日開軍縮會議。委員會。關委員會。構成等。先交換意見。我永野全權。高唱如左。

軍縮會議
全員委員會開 英海相爲議長

倫敦十日電。軍縮會議全員委員會。十日午前十時三十五分。（臺灣時刻午後六時三十五分。）開於克拉爾士邸。女西英海相。就議長席。各國全權。自十時開會。第三回。即十一日午後三時。開第一委員會第二回會議。早已過今次會議最大眼目。且最大難關。如日本對英米均等要求。決定關于討議。各國代表部。十日第一委員會。揭基的制限。爲第一議題。決定先議。永野全權。日第一委員會。公式對各國。通告如左。

（略）

委員會第二回會議 力議日本均等要求
英海相合求永野全權詳明

倫敦十日電。軍縮會議。第三回。即十一日午後三時。開第一委員會第二回會議。早已過今次會議最大眼目。且最大難關。如日本對英米均等要求。決定關于討議。各國代表部。十日第一委員會。揭基的制限。爲第一議題。決定先議。永野全權。日第一委員會。公式對各國。通告如左。

（略）

英國政府 緊急閣議
爲計意神後事

倫敦十日電。英國政府。緊急閣議。爲計意神後事。

司令官上京 十日啓程

（略）

法艦副長 提出道歉證 懇求釋放

倫敦十日電。十日開軍縮會議全員委員會。關委員會。構成等。先交換意見。我永野全權。高唱如左。

員林 檳榔現盛出期
檢查員不足大積滯
生產者叫苦屢乞增派

員林方面檳榔。自八十三月以來正見盛出。現每日檢查申請數。員林約二十萬顆。永靖約十萬顆。檢查員十二名。此十二名。檢查能力。僅十萬顆。員林及永靖兩檢查所。倉滯三十萬顆。現下員林倉滯類。積至百三十萬顆。永靖二十萬顆。不得已員林自去八日起三日間。永靖自去八日起按至十五日止斷行申請中止。因產內地檳榔高騰。又值盛期。諸生產者。皆叫苦連天。蓋中州糖業組合及永靖信用組合。自數日來。屢向當局。要求至急增派檢查員。至去十一日。乃增加二名云。

來二十一日 至明春二日
基督降誕休日

倫敦十日電。十日上院委員會。議基督降誕休日。決定軍縮會議。自十一月三十一日午前至明年一月二日正午休會。又第二委員會。十一日午後二時開會云。

員林郡煙耕 組合兩式 及各人賞者

員林郡內埔庄林作組合主催第三回堆肥品評會。於當選者授與式。並昭和十年度煙草耕作奬勵金付與式。去十日午前十時起。在員林公會堂行。監督官島崎。有尊官局女達技師。樋口臺北總督。水野。永井兩全權。臨場。而花旋館水野全權室與堆肥少數。其他外省賓客。閉提議。相與協議。或議各國軍兵力非通最大限設定。均等要求等。日本主張。提出軍縮大會議之提議方法云。

聲明書 英外相發表
倫敦十日電。十日軍縮會議全員委員會散會後。英國實至外相。發表聲明書。內容如左。

軍縮會議第一委員會第一回會議。十日午前十時三十分。開於克拉爾。總會議進行手續。所關議題問題後。轉議九日。即將共通最大限。主張根據總會。（略）宣言。委員會。明確要旨。為制限。量的制限。英國當局代表。表賛同。以明帝國不變之

永野全權 闡明我態度
答各代表質問

倫敦十日電。通特派員發。十日第一委員會。第一回。會議。日本永野。永井兩全權。出席。第一。下。阿部。招現。山形。井上各顧員。清田通譯出席。次西英全權。說明英國軍縮方針。各國代表。亦有具體說明軍縮方針。我方主由永野全權說明。先自著的制限問題討議。各國代表。概說其的制限方針。永野全權。即將共通最大限主張根據。不減脅。不侵略原則。確保目的。我公正要當之軍縮方針。懇切說明。以與各國代表賛同。以明帝國不變之

量的制限 力主先議

倫敦十日電。通特派員發。十日軍縮會議第一委員會。先從著的制限問題討論。永野全權。所帝國軍縮方針。力主設定。各國海軍兵力共通最大限。以行著的制限。反覆要求。並言此點不決定。帝國全權。不便著議賛的制限問題。頗示以強硬態度云。

各國兵力最大限 先要議量的制限
我永野全權委員會高唱

倫敦十日電。十日開軍縮會議全員委員會。關委員會。構成等。先交換意見。我永野全權。高唱如左。

岡山神社鎮座祭日
諸陳頭書夜繞街

既報岡山神社鎮座祭。去九日午前十時。挙行。十一時半。照所儀式終了。四人中祭。午後一時。諸行列陣頭。集於岡山公學校廣庭。刻到拔隊。登程。赴神社。參拜後。繞街行列。順序。鄙十小學校兒童。約三千餘名。次岡山庄國校庭。出發。出藝閣。宋江陣。獅子陣。南管。北管。樂隊行列。福。各。外。新顯月物。來仙樓。醉鄉。搜聯合。以岡山商工會後。傳亦裝。出藝閣。鬼樂隊及十時。假板橋公會堂。舉行祭典。式。參列者黃師。山本州協。郭彩銀文店長。郡下各街庄長。各。委員。協議。長席。各國全權。自十時開會。第三回。即十一日午後三時。開第一委員會第二回會議。早已過今次會議最大眼目。且最大難關。如日本對英米均等要求。決定關于討議。各國代表部。十日第一委員會。揭基的制限。爲第一議題。決定先議。永野全權。日第一委員會。公式對各國。通告如左。

（略）

馬公第四驅逐艦隊 十日堂々入高雄港
和田司令官訪州市當局

馬公要港部所屬第四驅逐隊。十日堂々入高雄港。繫留于第十號岸壁。乘組員五百六十名。于碇泊中。自十一日至十六日。每日半舷上陸。見學市內。訪問岸南。行軍。鳳山無線電信所。市當局。對乘組員贈呈以西瓜。紹葉書等。極力歡待。又和田司令官上京之途。曾乘羽風。正式訪問高雄。故入港同時。內海知事。松尾市尹其他。到同艦訪和田司令官。表敬。未幾司令官。偕幕僚等上陸。訪問州。市兩當局答禮。是夜六時。赴旅亭江之島。臨州市合同歡迎晚餐會。然後止宿。于旅亭吾妻。十二日午後六時。在旅亭花壇。招待重要官民。開新任挨拶。待重要官民。開新任挨拶。同九時半。急行。

岡山商店 訪問競走會 一等梁元

高雄州岡山商工會。爲圖商人道德觀念啓見。乘岡山神社鎮座祭前日。即八日午後二時起。主開商店訪問競走會。當日選手二十二名。結局入賞者如左。選手賞一等梁元。二等洪水生。三等蔡慶。四等王添丁。五等蔡賞德。六等蔡成。七等黃傳慶。八等泉水中。九等蔡德。十等蔡水。一等梁元。二等洪水生。三等蔡慶。四等王添丁。五等蔡賞德。六等蔡成。七等黃傳慶。八等泉水中。九等蔡德。十等蔡水。

詐取金項 七千餘圓
由大連捕犯

基隆市義重町一丁目山口省三郎。年五十五。藉端周旋勢酌婦。由金島各地族來飲食店。詐取巨金。逃往大連。自經羅東郡警察課大森刑事。自大連押歸以來。留置于同課究辨其被害額。以羅東等之二千七百圓爲最巨。其他于基北。基隆。新竹。彰化

鹿港街水道問題 以由彰化引入爲便
雙方學委員積極交渉

彰化市上水道。所刻修濟下流引入者。要工費八十萬圓。由彰化市引入工事者。僅二十五萬圓可足。協議爲經濟。雙方接近。中各學委員。積的交渉。

視察市區改正

公都長野新吾。伊藤警察部長。吐野等。顧水庫街長。吐野等。顧水庫街市區變改正。乃於十日。駕快視察。臺中州下西電設置問題。

北港小西天 阿彌陀佛誕辰

北港街北港寺廟小西天阿彌陀佛。舊寺被改作市場用地。乃重新移轉建築。現工事中。依例于古曆十七日起。四日間。挙行慶祝誕辰。屆時集雜軒錦樂社。決于寺前築臺開演。而北管樂團。南北館。亦欲演唱奉祝云。

舊地入札

大甲信用利用組合。及埔厝同業利合。共有事務所。前設市區改正折毀。信用組合。興隆地在公望對面。改造新築。稱。開組合現稱地中。双方同意。欲將地建物救地。三三番。賣入札。在頭前宮北側入札。希望者。一股往壓之也。

員林 實科研究

員林郡主催。地役實科研究會。町來十月十日。午前八時起。開於角山公學校。當日。行事如左。

（略）

竊取主家履物 涉足珈琲店

嘉義市西門町二丁目九番地張謝。履物店雇人。臺州東勢郡東勢街東勢子。新。二六管金順。年二十一。近常涉足珈琲店。對女給。之附賞。花費頗奢。

爲歌

舊市 淺工 橋梁工事 大甲 大甲溪鐵筋橋梁。前番大雨時。第七號南方橋柱。洪水所衝流下。一時陷於交通斷絕。交通局。爲交通關係。急設臨時橋。徒步通路。其後更將沙下橋。四十米。以工費金二萬五千六百圓。歸太

納稅表彰

海山郡役所。去十日午前十時。假板橋公會堂。舉行納稅表彰。並頒布式。參列者黃師。山本州協。郭彩銀文店長。郡下各街庄長。各。委員。協議。長席。各國全權。自十時開會。第三回。即十一日午後三時。開第一委員會第二回會議。早已過今次會議最大眼目。且最大難關。如日本對英米均等要求。決定關于討議。各國代表部。十日第一委員會。揭基的制限。爲第一議題。決定先議。永野全權。日第一委員會。公式對各國。通告如左。

（略）

開始製糖

明治製糖會社溪湖工場。自月二日起。開始製造。本期起。採用新面積。約三甲。又去九月末。計。

臺南紅毛城址 發掘中止
得多數資料

臺南市。于查博。特設館歷史館開設同時。發掘紅毛城址。得發見多數貴重資料。既如前報。其後在同城西北邊。掘長十間。深十尺。幅員一間。復發見砲身。古井等。然欲知築城同時模樣。須要實地附近民家。支規模發掘。而市當局。在歷史館閉館同時。乃飛發掘事業。今後欲俟來門研究。得其確信始欲再掘云。

傷重死亡 屍體附解剖
被自動車撞倒

既報新義市茶陽貨物自動車。轉手經石龍。年四十二。去月二十日下午五時。操縱自己自轉車。滿載木材。由嘉義出發。向臺南在縱其道路疾走中。至新

員林 組合兩式 及各人賞者

員林郡內埔庄林作組合主催第三回堆肥品評會。於當選者授與式。並昭和十年度煙草耕作奬勵金付與式。去十日午前十時起。在員林公會堂行。監督官島崎。有尊官局女達技師。樋口臺北總督。水野。永井兩全權。臨場。而花旋館水野全權室與堆肥少數。其他外省賓客。閉提議。相與協議。或議各國軍兵力非通最大限設定。均等要求等。日本主張。提出軍縮大會議之提議方法云。

聲明書 英外相發表

倫敦十日電。十日軍縮會議全員委員會散會後。英國實至外相。發表聲明書。內容如左。

軍縮會議第一委員會第一回會議。十日午前十時三十分。開於克拉爾。總會議進行手續。所關議題問題後。轉議九日。即將共通最大限。主張根據總會。（略）宣言。委員會。明確要旨。為制限。量的制限。英國當局代表。表賛同。以明帝國不變之

永野全權 闡明我態度
答各代表質問

倫敦十日電。通特派員發。十日第一委員會。第一回。會議。日本永野。永井兩全權。出席。第一。下。阿部。招現。山形。井上各顧員。清田通譯出席。次西英全權。說明英國軍縮方針。各國代表。亦有具體說明軍縮方針。我方主由永野全權說明。先自著的制限問題討議。各國代表。概說其的制限方針。永野全權。即將共通最大限主張根據。不減脅。不侵略原則。確保目的。我公正要當之軍縮方針。懇切說明。以與各國代表賛同。以明帝國不變之

量的制限 力主先議

倫敦十日電。通特派員發。十日軍縮會議第一委員會。先從著的制限問題討論。永野全權。所帝國軍縮方針。力主設定。各國海軍兵力共通最大限。以行著的制限。反覆要求。並言此點不決定。帝國全權。不便著議賛的制限問題。頗示以強硬態度云。

各國兵力最大限 先要議量的制限
我永野全權委員會高唱

倫敦十日電。十日開軍縮會議全員委員會。關委員會。構成等。先交換意見。我永野全權。高唱如左。

軍縮會議
全員委員會開 英海相爲議長

倫敦十日電。軍縮會議全員委員會。十日午前十時三十五分。（臺灣時刻午後六時三十五分。）開於克拉爾士邸。女西英海相。就議長席。各國全權。自十時開會。第三回。即十一日午後三時。開第一委員會第二回會議。早已過今次會議最大眼目。且最大難關。如日本對英米均等要求。決定關于討議。各國代表部。十日第一委員會。揭基的制限。爲第一議題。決定先議。永野全權。日第一委員會。公式對各國。通告如左。

（略）

委員會第二回會議 力議日本均等要求
英海相合求永野全權詳明

倫敦十日電。軍縮會議。第三回。即十一日午後三時。開第一委員會第二回會議。早已過今次會議最大眼目。且最大難關。如日本對英米均等要求。決定關于討議。各國代表部。十日第一委員會。揭基的制限。爲第一議題。決定先議。永野全權。日第一委員會。公式對各國。通告如左。

（略）

英國政府 緊急閣議
爲計意神後事

倫敦十日電。英國政府。緊急閣議。爲計意神後事。

司令官上京 十日啓程

（略）

法艦副長 提出道歉證 懇求釋放

倫敦十日電。十日開軍縮會議全員委員會。關委員會。構成等。先交換意見。我永野全權。高唱如左。

商況 十一日

米況

正米市況前場

（略）

期米 大阪期米前場

（略）

東京期米前場

（略）

神戸期米前場

（略）

大阪短期前場

（略）

東京短期前場

（略）

東京長期前場

（略）

株式 大阪現物

（略）

紐育株式

（略）

爲替 外國爲替相場

（略）

神戸對外爲替

（略）

砂糖 大阪清算

（略）

砂糖 神戸

（略）

砂糖 東京

（略）

砂糖 大阪現物

（原題朝鮮）（明治一百年五月九日第三種郵物認可）

臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁

編輯兼發行人　野村德七
發行所　臺灣日日新報社
臺北市榊町
臺北市榊町
臺北市榊町

日本の均等要求を眞劍に討議せん

十一日の第二回會議で

平等權主張に關する列國の質問事項

我代表部で仔細に檢討

【ロンドン十日發電】軍縮會議は十日午後二時より第二回會議を開いて、日本の均等要求に基く質問に先づ答つつかねてこれが解決方法に直面するある点を認めたものとなりを意味することを単直に認めてゐる。

【ロンドン十日發電】十日夜の第六代表部會議は十一日の第一回會議に於ける方針を練り上げる爲め先づ十日夜食席上列國代表に主としてモンセル英海相から提出した所の質問事項を公開席上に於ける第一回會議の討議を加へて水ともらぬ防禦陣備を敷いてゐるとのことが十日夜の第六代表部に於ける列國代表よりの質問事項の主なるものは左の如くである。

一、各國共通最大限とは如何なる具體的數字を以て代表されるかまたもし若し數字で表示し得ずとすればそれは主要海軍國有有兵力量と如何なる關係に立つや

一、若し列國が日本の均等主張を承認するとしたらば日本はこの場合最低とされる共通最大限まで自ら軍備を充実するを要するか、一層低い最低主張の保留を固守するか

一、現在の各國兵力量の差異を平等化し若くは行手段及び所要期間如何いかなる形式で表明されるべきものと思惟するや

一、共通最大限が原則的に設定されれば日本は共通的内で各國との間に原則的の軍縮宣言を含む紳士協定を締結する事を承認するや

一、平等權を承認しない國がある場合日本は如何なる程度に於て質問的限度を要請するや

一、平等權主張は各國の地理的政治的事情から起る國防の不均衡に基く兵力必要量の差異に對し如何なる解釋を下すや

一、平等權原則を日本は佛伊兩國へ如何なる形式で通告されるべきものと思惟するや

一、共通最大限が原則的に設定されれば日本は共通的内で各國との間に原則的の軍縮宣言を含む紳士協定を締結する事を承認するや

一、平等權を承認しない國がある場合日本は如何なる程度に於て質問的限度を要請するや

一、平等權主張は各國の地理的政治的事情から起る國防の不均衡に基く兵力必要量の差異に對し如何なる解釋を下すや

一、平等權原則を日本は佛伊兩國へ如何なる形式で通告されるべきものと思惟するや

全權　けられてから實的制限國の會議に臨むところです

問　我が根本主張たる共通最大限設定問題の審議外に長く會議の中心問題となつたので同時に決裂の危機迫つたとの報道もありますが全權はどう見て居られますか

全權　決裂など、將來の事はさて今問題にしない、吾々は國家の命運の問題にただ奮起に努力するのみだ、くたらぬ問題はこの際全權　如何なる事態　如何なる局面に遭遇するも敢へて恐れるものではないが、會議進行中のこの時期に中止出来ない

問　ブランは議場散会を議してゐる様に相當我が主張に好意を寄せてゐると傳へられてゐるが、さういふ態度は受けられるか

全權　御承知の通り國際關係極めてデリケートだから何とお答へ出來ない

問　潛水艦使用制限規定をコンドン條約より切離し獨立的協定にせんとの案は各國間に諒解を出來たのですか

全權　要するに技術の問題で伊兩國がこれに參加するかどうかは未だ決つてないやうだ

問　國民一般は全權の態度に關し冒頭の宣言を意と國の立場に對する信頼の念を意と國の立場に對する信頼の念を

全權　大體に有難う、吾々は如何なる難局に當面しても決して國民の強固な支持を忘れない我が正義の主張を貫徹する覚悟で決死的努力を拂ふ覚悟で臨んでゐる

どうか國民諸君も協力一致大國民の態度で會議の成行を靜視して呉れたい、誤れる報道曲つた言説に迷はされぬやう切に希望します、宜しく御傳へ下さい

我主張の說明方針

代表部會議で決定

【ロンドン十一日發電】十日夜の第六代表部會議は十一日の第一回會議に於ける我が代表の說明要綱を決定した、左の如くである

一、日本の要求の理由は既に屢々聞かれた通り軍縮の理想たる不戦條約の原則を確立せんがためである

一、共通最大限實現までの過渡的期間が長年月に亙ることは結局其間比率を年月に亙ることとなるので日本のとらざる所である、攻撃的武器廃止乃至其他の武器の保有量をそれ以下に協約せしめんとする提案には絶對に同意し難い（この點は特に念を入れて強調する）

一、平等權要求の理由は既に屢々聞かれた通り軍縮の理想たる不戦條約の原則を確立せんがためである

一、共通最大限實現までの過渡的期間が長年月に亙ることは結局其間比率を年月に亙ることとなるので日本のとらざる所である、攻撃的武器廃止乃至其他の武器の保有量をそれ以下に協約せしめんとする提案には絶對に同意し難い

一、日米と佛伊と目的立場の差異あり、日本代表は特殊防衛國の大同盟をもつて中心的觀念とする

一、共通最大限實現までの過渡的期間が長年月に亙ることは結局其間比率を年月に亙ることとなるので日本のとらざる所である、攻撃的武器廃止乃至其他の武器の保有量をそれ以下に協約せしめんとする提案には絶對に同意し難い（この點は特に念を入れて強調する）

一、平等權要求の理由は既に屢々聞かれた通り軍縮の理想たる不戦條約の原則を確立せんがためである

一、共通最大限實現までの過渡的期間が長年月に亙ることは結局其間比率を年月に亙ることとなるので日本のとらざる所である、攻撃的武器廃止乃至其他の武器の保有量をそれ以下に協約せしめんとする提案には絶對に同意し難い

一、日米と佛伊と目的立場の差異あり、日本代表は特殊防衛國の大同盟をもつて中心的觀念とする

我主張を貫徹の爲

決死的努力を拂ふ

國民の擧國的支持を忘れ

永野全權　國際電話

日支國交の調整に新曙光

介石君の表面乘出は一進歩

一

復興の機運であつた日支國交の不調整が、新マレンルに乗ぜんとし調整の一歩を踏み出したかの感を抱するに至つたことは先づ先づ慶賀である、此國交調整に至つた事は昨年秋のため時たる文明に鑑る支那事変のため時を費目の復興なくてはならぬ、然らば何を以て日支間の國交の調整への一歩を踏み出したといふ事、他ではない、民國中央政府における事實上の支配者蔣介石君が、堂々と國交の表面へ乗出し、去る大日、中支會の招待に應じ、事實上の政府間會である行政院長に就任したからである。

二

置政府は、政府機構主席の下に行政、立法の二種分立制を採り、外に監察、考試の兩院を併せ五院組織になつてゐるが、今日の民國に於て有力者が事實上の主席であり、而して蔣介石君が事實上の主席であつて、何等の意向を表明して、表面に出ない、然るに所謂は、所謂事實上來の、明白に自己の政策をなく心得、國民政府の今の態にかくれて自ら表面に立ち、而して蔣介石君の表面に立ちて現下の難局を切り抜ける覚悟を決めたと傳へられて來た。政府支那流に考へると、政府の表面に立ち政治の實權を掌握に就いて、事實上の政府機構の復興を期し民國を統治する現代に於ては、自己は決して不利でなく、相當の力を發揮しつつ日の安全を計つてゐるが、全く、彼の方法で、「蔣」の「蔣」の、自身は表面に出ない、所謂行政院長の運命は、北京國民政府の、「蔣」の、「蔣」の、「蔣」

對シャム貿易 日本が第一位

茲二兩年間に各國を斷然引放なす

【兄島特電合タイムス所報】一年前の暗闇は日本の輸出が如何に世界市場を圧倒するかで持切つてゐたシャム貿易界は今日に於ては日本の輸入品が各國を引放なす位に大躍進を来してゐると伝はる。

各國は 圧倒の方法で本問題とタッチルしたが、日本輸出品の多くは国際的市場を圧倒した日本品は大部分低廉であり、輸入不況下にあつては低廉と云ふことは尽く世界を支配する原因である。

シャムは勿論品供給原料源として公共なる野を以て給仕して居り、殊に日本の輸入品は、昨年日本はその個々の品目に就いて見ると、七品目は日本が半制以上を供給し、例、材木は輸入ビルの七六・六%(後段五八・九%)、鋼を、鋼の九五・二%(後段九五・四%)、鋼板、及び入四九%(後段九七・六%)、ブリキ板の八八・八%(後段八五・九%)、ブリキ板の九〇・〇%(後段九七・三%)、ブリキ板の九〇・〇%(後段九五・五%)、ブリキ板の八〇・〇%(後段九五・五%)、ブリキ板の八〇・〇%(後段九五・五%)、ブリキ板の八

都會化粧

(157)

岸田國士　田中良畫

西の滿月(一)

その年の九月半ばもとつた。

雲助の名物隅田川の岸に花むしろを敷いて、宮戸にその名を知られた大仲主人の家の宴席が設けられた。

宴席の座からは、對岸の墨山が月明の名にふさわしく、くっきりと聞に、金龍山の幽邃な姿が浮立つてゐた。

座敷の花を飾つた座敷の男女が、數列のテーブルに腰掛けてゐる。

やがてはじまるお座敷人のスピーチに、さいさい人間のうとうとしてゐる。

「三月三日、桃の節句、ひな祭りの日、ぼくは、ぼくの生涯に、忘れることのできない、ある人の顔を初めて見た。」

新聞記者の、東京日報の、記者、ブリッジ人の、ぼくは、ぼくの、ぼくの、ぼくの

百五十萬顆の停滯で 檢査所大多忙

新檢査申請中止に喫驚りし 商人ら督府に陳情

【臺中市發】臺中州員林街十日【電報】臺中州員林街十日【臺中市發】臺中州員林街十日【臺中市發】臺中州員林街十日【臺中市發

日支關係の複雜化

問題は頗るデリケート

上海本社特電員　山田儀四郎

今回の北支の事件しろ、日本との間に間隙がなければ兩民は直ちに之を利用するであろう。所謂仕年の經驗獨立の際の如くに、併し中央政府を河北の北に使人せしむることは、獨逸、何國政府に對しても國民に對する責任の問題となる。

北支の自治運動は大ぜ海のものとも山のものともつかない。國民政府は、軍隊を送り北せしめつつあり、現下の華北は、河道の南部、山西省、冀察、ヘを入れ、自治運動の傳播、政部をすると共に、山西省を其の手に、國民政府との所の交渉らし、ちょんぬんとの所の交渉らし、山は南京で西部に長官になつて居ることの事である。

兩氏と自治運動、自治、如何なる信號をうけるか、既に南京國民政府及び日本との關係を何樣に處置せんとするであろうか、今後の樣に、複雜化、密化について、問題は、ただ、ディクトであるとの外に、上海には、兵器、軍隊が交戦の、戦争の、戦争の、戦争

不逞の陰謀を祕める建直しのお題目

治維法に觸るる事も確實　建物は近く取壊す

大本教事件

【東京十一日發】大本教の問題は目下大本教の教祖出口王仁三郎の指揮の下に密かに進行されつゝあるが、その中心となつてゐるのは從來出口王仁三郎と共に教祖の右腕と目されてゐた出口澄子の夫出口日出麿であるとの事であるが、澄子は昨年十月二十日頃から行方不明

第二回臺中市會議

附議事項時起波瀾

至午後八時頃終了

第一回臺中市會。十日午前十時。開于公會堂。議員二十八名。全部出席。廳田市尹就議長席。參與員以下。並州高橋地方課長。白石協會佐藤主事。警察官代理。首由廳田市尹開會詞。議員總代山口袁、氏答詞。出缺席報告。隨事之前。樹原氏提出市會開會前參拜神社之緊急動議。盧茂川氏更提議奉謝物語。二同贊成樹原氏。爲參拜神社。暫時休憩。九時四十分再開。盧氏動議于每市會。會前。桑設語。時有賛成論。大鳥田議長、指名同贊成樹原氏。爲參拜神社。暫時休憩。九時四十分再開。盧氏動議于每市會。會前。桑設語。時有賛成論。大鳥田議長、指名議事錄署名者四氏。繼由坂本氏就市政一般。開陳意見。答議事進行上。中澤會。山下氏反對。山口氏與議長問答。山下氏問議長關市政一般。不許發言耶。議長言于議事無關。爲議事進行上。求爲中止。山下氏問議長以獨斷中止發言之法律的根據如何。議長答。以無規則。然爲會議統制上而者。山下氏謂于議事進行上不得已者。自要妥處。然而市政上。有許多懸案。就此意見。求得于本市會。十分開陳。而披瀝所信。由是入報告。第一號事項。一、臺中市督促手數料條例制度。自初便料波瀾。自主野參與說明。中田張深宿氏等。以適用手數料。條件者。概屬不級者。王納期經過後。便行附加。是唐無稽。而唱反對。時。乃宣言休憩五分。對個々。

決議解。二時再開。山下氏乃述。委員長訂正爲議長次整先於問投票所關。是日因議長未圓熟。及民選議員山下。張坂本。中田其他諸氏之補闕。憂起波瀾。議事不進。議至三時。議事規定第二項未決。山下氏就議員質問權。言十本多數成立。原案修正後可決確定。

一、第七號議案昭和十年度臺中市歲入歲出豫算追加件。

時有多數陳意見。結局原案可決。本會議々案。至是全部議完。時在午後七時二十分云。

基隆市第一回市會

宇田邱兩氏大爭論

終除去選擧進行議事

基隆市第一回市會。去十日午前九時。開于市衙議席。入第二讀會。宇田氏主張進記投票。邱德金氏支持原案。爲無記投票。山內兩元票。次森山。松浦。明地。古山四氏。賛成連記。邱氏極力反對。議場俄呈紛亂。古原。王徐盛兩氏。提議。古原。王徐盛兩氏。提出仲裁論之暫時休憩。而宇田氏。謂議長與他人私議。其爲可憎。終由居川氏提議。除去選擧之項。乃進行議事云。

齋藤院長

新任披露

宴官民百餘名

高等法院長齋藤二郎氏。于十日午後六時。假鐵道飯館。招待官民百餘名。是夜累計。二百七十九名。乃新任披露晚餐會。

舊新港堤防

調查分擔率

花蓮港街舊新港堤防工事費五萬五千圓中。堤防區域內受益者。負擔額分擔由街當局研究中。該受益程度之土地位置。土地所有者。家屋所有者等分擔。以醵出一萬圓爲目標。決定八率。現時細調查。欲決定八率。又堤防中之橋梁。分類中。由街當局之暗算等二十處。再設計中。按近日完成。然街當局。關於豫算。若無財源。亦決心籌出他處財源充之。使得實現云。

本年生產茶

委託販賣

減八十萬斤

本島茶業界。本年因天候關係。產茶大減收。其後雖天候回復。我方但宗共通以產茶此展開。日本南英米主張隔絕。自初便料波瀾。發共通最大限所關。日本主張宗共通最大限所關。日本主張宗共通最大限所關。日本主張宗